

2015年度 第1回 第三者評価会議(教学)議事録

日時 2015年12月4日(金) 14:30~16:30
場所 ビジネス・ブレイクスルー大学 麴町校舎 Lecture RoomB

議題 1.外部アドバイザーコミッティの設立の背景、目的、進め方
2.大学基準協会の指摘事項(本学の直面する認証評価上の課題)
3.指摘事項に対するこれまでの取り組みと進捗
4.今後の行動計画
5.ご助言を頂きたい事項

出席 鈴木 寛 委員、山田 英夫 委員
委員 伊藤 泰史副学長(議長)、門永 宗之助研究科長、宇田 左近学部長、柴田巖教授(自己点検・評価委員会WG長)

個別 各務 茂夫委員、田中 洋委員、徳中 暉久委員、米倉 誠一郎委員
説明
事務 秋元 陽子、石黒 雄大、古尾谷 大嗣、沼尻 恵理(記録)

【配布資料】

本資料 外部アドバイザーコミッティ(第三者評価会議(教学))アジェンダ

APPENDIX

- 3-1 第三者評価会議(教学)への協力ご依頼状
- 3-2 ビジネス・ブレイクスルー大学 第三者評価会議規程
- 3-3 ビジネス・ブレイクスルー大学 第三者評価会議(教学)活動スケジュール
- 6-1 経営管理専攻 追評価に向けたタスクリスト
- 6-2 ビジネス・ブレイクスルー大学 教学意思決定規程
- 6-3 本学の教育の質保証の仕組み
- 6-4 カリキュラムマップ
- 6-5 シラバス作成ガイドライン
- 6-6 シラバス記入例
- 6-7~9 改訂後シラバス3科目
- 6-10 研究活動に関する状況と今後の取組
- 6-11 ビジネス・ブレイクスルー大学大学院経営学研究科 教員一覧(研究・実務家)
- 6-12 科目評価シート(2014後期 企業変革(チェンジマネジメント) 宇田 左近教授)
- 6-13 科目アンケート結果(2014後期 企業変革(チェンジマネジメント) 宇田 左近教授)
- 6-14 科目評価アンケート結果 教員へのフィードバック例
- 6-15 ファカルティ・ディベロップメント・レビュー

【議事骨子】

- ・ 議長は、前掲の配布資料について詳細に説明を行った。
- ・ その後、本資料に整理された主な論点について、フリーディスカッションの形式にて、外部アドバイザーから忌憚りの無いご指摘やご助言を頂いた。
- ・ 外部アドバイザーからは、次の骨子の指摘を頂いた。
 - 今回の是正勧告事項については、基準協会の指摘を重く受け止める必要がある。これを良い契機として、教職員一体となって、この指摘事項に120%応えるため取り組んで欲しいと強く依頼したい。
 - これまでの取り組みに関しては、指摘事項について様々な改善の努力が見られることも事実であるが、なお一層の改善に向け、また、更にどのような取組ができるかについて、さらに精査し対応を図っていただきたい。
 - 本日報告を受けた現在の改善活動・計画については、その方向性には異存はないため、努力を惜しまず引き続き改善活動を続けてほしい。
 - 研究活動の成果物については、リファレンス・リストを整備するなど、学術論文として必要な形式を整えるとともに、BBT大学の研究体制を更に整備していただきたい。
 - 今回の取り組みを、外部の識者の意見を本学の教育の質向上に反映する良いチャンスと捉えてほしい。第三者評価委員会(教学)での議論を十分に生かし、スピードを重視して継続的に改善活動に取り組むことが

重要である。

- 事務職員がこのような改善活動に垣根なく取り組むことは、大学全体としても良い事である。改善活動が進んでいる他大学においても、事務職員と教員が改善活動に取り組む事によって一体感と危機感が共有され、改善のスピードが増した事例がある。
 - スピードが最も重要である。この方向・ペースで早急に改善活動を続けてほしい。
- ・ なお、今回は日程の都合で欠席となった下記委員については、別途個別訪問した際に頂いたご意見・助言が、本会議において共有された。
 - 各務 茂夫委員、田中 洋委員、徳中 暉久委員、米倉 誠一郎委員
 - ・ 議長はご指摘事項に関する改善を直ちに着手し、その改善結果を評価いただくためにも次回の本委員会を 2016 年 2 月中に開催したい旨を委員の皆様をお願いした。
 - ・ 議長は前掲の指摘事項を真摯に受け止め、今後も鋭意改善活動を加速し、結果を残す事を全員の総意として確認し、議事を終了した。

以上